

平成30年度

岡山県立博物館協議会

第1回 開催要項

1 開会

2 議題

(1) 平成30年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成31年度展覧会計画（案）について

(3) 長期展覧会計画（案）について

(4) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について（平成29年度）

(5) その他

- ・来館者アンケート結果について

3 閉会

日 時：平成30年10月9日（火） 10：00～12：00

会 場：岡山県立博物館 講堂

(1) 平成30年度事業について

ア 展覧会

平成30年9月27日現在

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・民俗ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・工芸)	オープン スペース	2階ホール
(3/16)～4/15 春季展(1) 28(32)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆特別陳列「西大寺文書の世界」 仏像～平安から江戸時代まで(1) 木簡	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前刀(備中刀・備後刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
4/18～5/20 春季展(2) 29(33)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	西大寺文書の世界、木簡 江戸時代の医学書 仏像～平安から江戸時代まで(2)	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの日	☆＜特別陳列＞ 唐徹と幕末維新の名刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/5甲冑体験
5/25～7/8 特別展・夏季展(1) 39(45)日	☆特別展(2室) 「サムライアーマー甲冑」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 岡山の蘭草—錦莞莖—	幕末維新の名刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/26甲冑体験 7/7甲冑体験 正子公也武将画
7/13～8/5 夏季展(2) 21(24)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山ゆかりの古文書、木簡 岡山の宗教美術 ☆＜特別陳列＞幕末・維新期の岡山	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 昭和のくらし—ホーロー—看板を中心に—	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
8/7～9/9 夏季展(3) 30(34)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山ゆかりの古文書、木簡 岡山の宗教美術 ☆＜特別陳列＞幕末・維新期の岡山	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 昭和のくらし—ホーロー—看板を中心に—	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
9/13～10/14 企画展・秋季展 28(32)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆企画展 「報恩大師信仰と寺院縁起 四十八ヶ寺を中心に」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) おまつり	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史 ☆＜特別陳列＞太刀無銘—文字山鳥毛	ちやぶ台の ある風景	
10/19～11/25 特別展 33(38)日	☆特別展(2室) 「岡山ゆかりの肖像」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) おまつり	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	11/3甲冑体験
11/30～12/24 冬季展(1) 22(25)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆＜特別陳列＞岡山藩主の書画 仏教美術の名品	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬のくらし	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
1/1～1/14 冬季展(2) 13(15)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山藩主の書画 仏教美術の名品 ☆＜特別陳列＞木山神社神狐初公開	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬のくらし	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	1/3甲冑体験
1/18～2/17 交流展・冬季展(3) 27(31)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆交流展 「伊予の戦国時代」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬のくらし	備前刀(備中刀・備後刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
2/21～3/24 春季展(1) 28(32)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	備前浦上氏 秀家と秀秋 ☆＜特別陳列＞岡山の狼犬	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前刀(備中刀・備後刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
3/26～(4/21) 春季展(2) 23(26)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	和氣の中世 岡山の神像・狼犬	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前刀(新刀・新々刀) ☆＜特別陳列＞ 備前焼名品選	ちやぶ台の ある風景	

ア 展覧会

事業名	特別展「サムライアーマー甲冑－日本ゆかりの名品と変わり兜－」	
期間	平成30年5月25日(金)～7月8日(日)	
趣旨	日本の甲冑は、武士の晴れ舞台である合戦において、命を託すと共に自らの活躍をアピールするものとして、機能的な実用性と人目を引く美しさが求められた。そして、戦いのあり方や武器の変化に対応して進化し、各時代の工芸技術の粋が集められた優れた美術工芸品となっている。近年、戦国武将ブームの影響により、甲冑への関心が高まっている。本展では、岡山県ゆかりの甲冑と共に奇抜なデザインの変り兜の優品計65件を展示し、我が国の甲冑の魅力を紹介する。	
主要展示資料	国宝 赤韋威鎧、兜・大袖付 重要文化財 色々威甲冑 朱漆塗紅糸威縫延腰取二枚胴具足 銀泥塗富士山形張懸兜	岡山県立博物館 瀬戸内市 豊原北島神社 彦根城博物館 靖國神社遊就館
関連行事等	①記念講演会 第1回 6月3日(日)「日本の甲冑 その構造と特色－甲冑師の視点から－」 講師 西岡文夫氏(日本甲冑武具研究保存会 副会長) 第2回 6月24日(日)「戦国武将と変り兜」 講師 須藤茂樹氏(四国大学文学部 教授) ②「正子公也戦国武将画パネル展」(2階ホール、撮影可) ③復元甲冑の着用体験会 5/26(土)、7/7日(土)※西日本豪雨のため中止 ④学芸員による展示解説 5/27(日)、6/10(日)、6/30(土)	
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室 連携事業 「おかやまサムライめぐり」 林原美術館企画展「サムライの纏うもの」、岡山城天守閣企画展「サムライ達の関ヶ原－秀家・秀秋・輝政に思いを馳せる－」と広報や関連行事(リレー展示解説)で連携	

事業名	企画展「報恩大師信仰と寺院縁起－四十八ヶ寺を中心に－」	
期間	平成30年9月13日(木)～10月14日(日)	
趣旨	備前国内には、奈良時代の僧報恩が開創あるいは中興したと伝えられる「備前国四十八ヶ寺」と呼ばれる寺々がある。いずれも平安時代以前にその基礎ができていたと見られる古刹である。本展覧会では、四十八ヶ寺のほか報恩ゆかりの寺院の縁起や古文書を通して、報恩開基伝承がどのように広まり、採り入れられていったのかを紹介し、あわせて、優れた仏教美術作品を鑑賞する機会とする。	
主要展示資料	木造 千手観音菩薩坐像 木造 俱利伽羅龍王像 重要文化財 絹本著色 阿弥陀二十五菩薩来迎図 岡山県指定重要文化財 紙本著色 金陵山古本縁起	岡山市 慈眼院 岡山市 明王寺 瀬戸内市 遍明院 岡山市 西大寺観音院
関連行事等	①記念講演会 9/22(土) 講師 徳永誓子氏(岡山大学大学院准 教授) ②学芸員による展示解説 9/13(木)、10/13(土)	
備考	入館料 一般250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室	

事業名	特別展「岡山ゆかりの肖像」		
期間	平成30年10月19日(金)～11月25日(日)		
趣旨	肖像とは、主として過去に実在した人物の姿を絵画や彫刻で表現したものである。武将像や女性像、あるいは祖師像など多様な形が見られる。肖像からは、人物の身体的特徴だけでなく、作品の大きさや形、服装や背景等から制作者の意図や時代背景など、様々な情報を知ることができる。本展覧会では、戦国時代から江戸時代までに活躍した、岡山ゆかりの人物の肖像を取り上げ、肖像や画賛に残された情報を丁寧に読み取って、人物についての最新の研究成果とともに紹介する。		
主要展示資料	重要文化財 絹本著色小早川秀秋像	京都市 高台寺蔵	
	重要文化財 絹本著色豊臣秀吉像	京都市 高台寺蔵	
	重要文化財 絹本著色小早川隆景像	三原市 米山寺蔵	
	重要文化財 絹本著色宇喜多能家像	岡山県立博物館蔵	
	池田光政像	備前市 閑谷神社蔵	
関連行事等	①記念講演会 第1回 10月21日(日)「小早川秀秋の実像に迫る」 講師 黒田基樹氏 (駿河台大学 副学長) 第2回 11月11日(日)「画像賛が語る小早川氏」 講師 斎藤夏来氏 (名古屋大学大学院人文学研究科 教授) ②ワークショップ「肖像画を描いてみよう」 日時 11月18日(日) ③学芸員による展示解説 日時 毎週土曜日		
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料	会場	第1・2展示室

事業名	交流展「伊予の戦国時代」		
期間	平成31年1月18日(金)～2月17日(日)		
趣旨	岡山県立博物館では、平成18年度から中四国の県との文化交流事業を進めている。平成30年度からは、愛媛県歴史文化博物館との交流を行う。初年度は、戦国時代伊予国を治めた戦国大名河野氏を中心に、同国内にいた戦国武将たちの事蹟を取り上げる。天正年間に侵攻を進める土佐国の戦国大名長宗我部元親に対して激しく対抗した様子を知る史料など、伊予国での戦国時代の状況について紹介する。		
主要展示資料	河野通直(牛福)感状	愛媛県歴史文化博物館蔵	
	紺糸威二枚胴具足(伝土居清良所用)	宇和島市教育委員会蔵	
	備前焼播鉢 湯築城跡出土	愛媛県教育委員会蔵	
	小早川隆景書状(石谷家文書)	林原美術館蔵	
関連行事等	①記念講演会 第1回 日程未定 演題未定 講師 山内 讓氏 (元松山大学 教授) 第2回 2月11日(月・祝) 演題未定 講師 西尾和美氏 (ノートルダム清心女子大学 教授) ②ボランティアガイド 日時 会期中3～4回 ③学芸員による展示解説 日時 毎週土曜日		
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料	会場	第2展示室
	連携事業 林原美術館で同時期に行われる企画展で、石谷家文書に関する関連展示や行事を行う。		

イ 教育普及事業

事業名	ジュニア学芸員講座
期間	平成30年8月1日(水)～8月3日(金)
概要等	<p>県内の中高校生が、実物の文化財の取り扱いや調査など学芸員の基本的な仕事を体験することで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来を考える機会を提供する。</p> <p><内容> 3日間の講義・実務・研修を行い、修了時に館発行の認定証を授与する。</p> <p>1日目 開講式、施設見学、文化財の取扱い(美術品、民俗資料)</p> <p>2日目 文化財の取扱い体験(刀剣など工芸品)、他館訪問(岡山県立美術館)</p> <p>3日目 機器の取扱い(写真撮影等)、閉校式</p>
参加者数	中学生 12名 高校生 10名 計22名

事業名	吉備の国ジュニア歴史スクール
期間	平成30年5月～6月
概要等	<p>県内の歴史と文化に関わる小学生向けテーマを設定し、第1日は、県立博物館での実物資料を用いた授業や展示室等の見学などにより、文化財や博物館に親しむ機会を提供する。第2日は、各学校で学習の成果をまとめ博物館と学校との連携を図る。</p>
参加校数	高梁市立玉川小学校(5・6年生11名)、赤磐市立軽部小学校(1～6年生51名)、赤磐市立石相小学校(1～6年生84名)

事業名	館内授業・出前授業
期間	通年(平成30年4月～平成31年3月)
概要等	<p>県内の小中高校生等が、博物館で実物の文化財に触れたり、展示を見学して学習する。また、学芸員が学校に出向いたり、古墳等の史跡見学に同行して授業を行う。</p> <p><授業テーマ例(学校からの要望に応じて対応)></p> <p>歴史 吉備の古墳の世界</p> <p>民俗 体験! 昔の暮らし</p> <p>美術 備前焼を知ろう</p>
実施校数	館内授業 29校(小11、中5、高9、大2、特2、その他1) 館外授業 2校 ※9月30日現在

事業名	博物館講座
期間	平成30年6月～10月
趣旨	<p>当館職員が講師となり学習する「スタンダードコース」と、第一線で活躍している研究者の講義により学習する「スペシャルコース」の2種類の講座を実施。(生涯学習大学連携講座)</p> <p><スタンダードコース></p> <p>4日間4講座(1講座90分、同じ内容を火曜日・木曜日の2回開催)、 定員 各曜日70名、受講料1000円</p> <p>内容 ①国宝「赤韋威鎧」 ②特殊器台－わかったこと、わからないこと－ ③江戸の出版物－庶民の視点から－ ④被災文化財から学ぶ－昭和9年室戸台風資料を中心に－</p> <p><スペシャルコース></p> <p>4日間4講座(1講座90分)、定員120名、受講料2000円</p> <p>内容 ①古墳時代「王朝交代論」の新視点 ②近世前期の大名・一門・親類・家老－岡山池田家と徳島蜂須賀家の繋がりから－ ③歴史文化基本構想と中世山城 ④正倉院宝物誕生の謎</p>
受講者数	スタンダードコース 79名 スペシャルコース 120名

事業名	中学校職場体験
期間	平成30年5月～平成31月2月
趣旨	<p>中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ</p> <p><内容></p> <p>学芸業務や受付・看視等の仕事を体験</p>
実績	受入校 1校 参加生徒 2名 ※9月30日現在

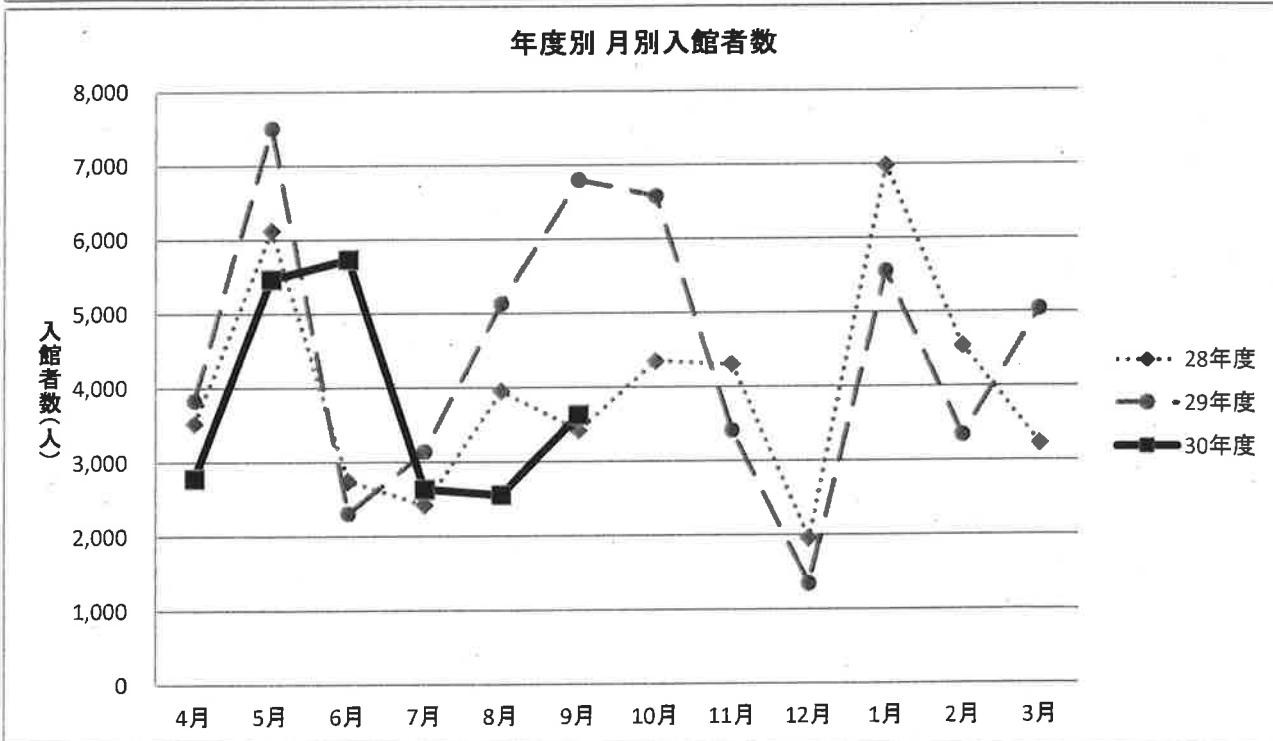
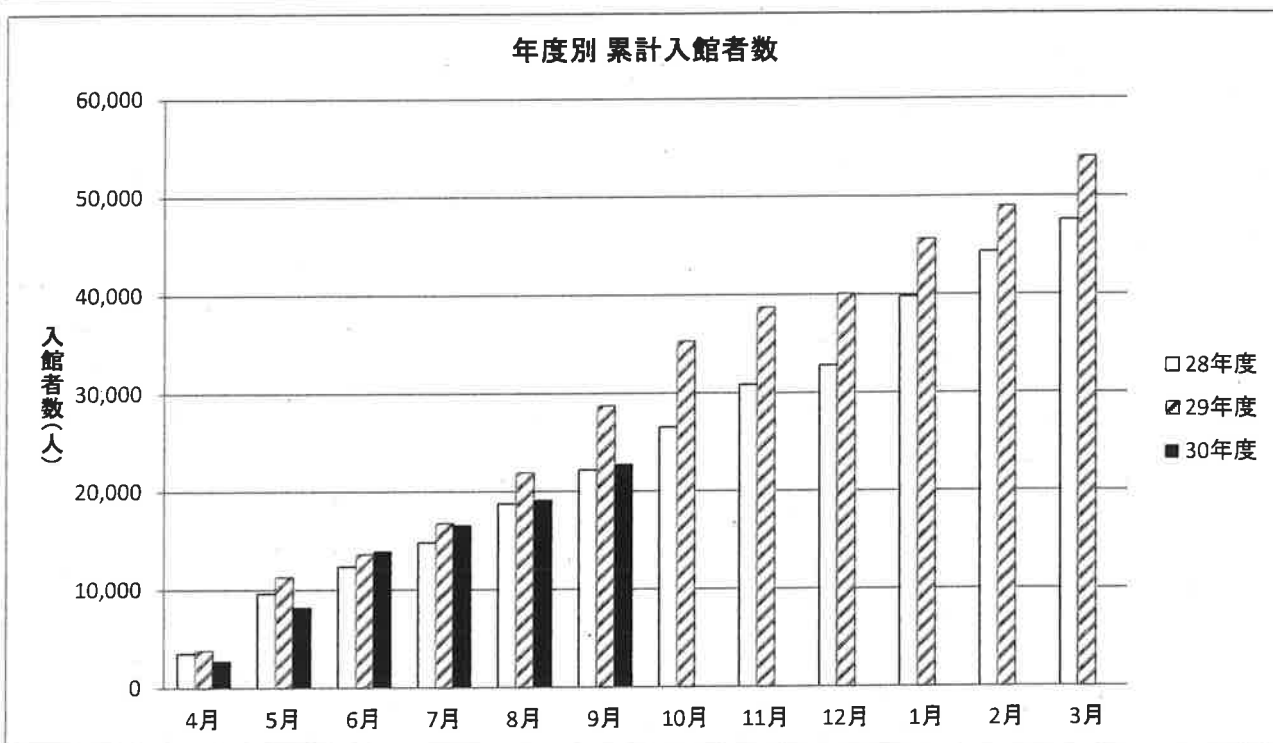
事業名	博物館実習
期間	平成30年8月21日(火)～23日(木)、9月2日(日)、9月7日(金)
趣旨	<p>博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する大学生を対象に、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。</p> <p><内容></p> <p>①講義実習(3日間) 各分野の文化財の取り扱いを通してその特性を学ぶ ②支援実習(2日間) 博物館の行事や展示替え作業を体験して実務を学ぶ</p>
実績	参加者 16名

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	9月末現在
28年度	3,523	6,127	2,749	2,421	3,955	3,424	4,353	4,308	1,960	6,986	4,543	3,232	47,581	22,199
29年度	3,837	7,512	2,311	3,146	5,138	6,799	6,582	3,414	1,350	5,560	3,349	5,046	54,044	28,743
30年度	2,787	5,472	5,736	2,638	2,556	3,632							22,821	22,821



(2) 平成31年度展覧会計画(案)について

☆広報テーマ

平成30年9月4日現在

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・特別陳列ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・工芸)	オープン スペース	2階ホール
(3/26)～4/21 春季展(2) 24(27)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の中世寺院文書 木簡 岡山の仏像と神像①	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句、端午の節句	備前刀(新刀、新々刀) ☆<特別陳列>備前焼名品選	ちやぶ台の ある風景	
4/24～6/2 春季展(3) 35(40)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の教育と学問 木簡 岡山の仏像と神像①	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊びと、子どもの学び	☆<特別陳列> 備前刀(新刀、新々刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/5甲冑体験
6/4～7/15 夏季展(1) 37(42)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山ゆかりの古文書 木簡 ☆<特別陳列>岡山の仏像と神像②	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊び	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
7/17～8/25 夏季展(2) 35(40)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山ゆかりの古文書 木簡 岡山の仏像と神像②	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 夏のくらし ☆<特別陳列>岡山空襲	備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
8/29～10/6 企画展・秋季展(1) 34(39)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆企画展 「江戸の旅模様」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 秋まつり	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
10/11～11/10 特別展・秋季展(2) 27(31)日	☆特別展(2室) 「岡山の日蓮法華宗」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 秋まつり	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	11/3甲冑体験
11/15～12/22 冬季展(1) 33(38)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	中世岡山の荘園と仏教 屏風の名品 風俗図 ☆<特別陳列>歴史	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬支度	☆<特別陳列>赤韋威鎧 備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
1/1～2/9 交流展・冬季展(2) 35(40)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆交流展 「愛媛が育んだ俳人正岡子規と その仲間たち」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後楽園の名品	備前刀(備中刀・備後刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	1/3甲冑体験
2/14～3/29 特別展・冬季展(3) 40(45)日	☆特別展(2室) 「備前のある場所——取り合わせの美——」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後楽園の名品	備前刀(備中刀・備後刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	

〈展覧会内容〉

事業名	企画展「江戸の旅模様」(仮)	
期間	平成31年8月29日(木)～10月6日(日)	
趣旨	江戸時代になると、街道や宿駅が整備され、交通の利便性は大きく向上した。また、出版物の隆盛は、学問の向上をもたらし、庶民の好奇心・向上心を喚起した。こうした社会情勢を背景に、庶民までもが旅が楽しむようになり、名勝地や寺社仏閣を訪れる旅が広く行われ、名所図会などの刊行物も数多く出版された。とりわけ、江戸時代後期には伊勢参詣や金比羅参詣はさかんで、そこへ至る街道も大いに賑わった。本展覧会では、絵図や古文書、旅道具や絵馬などを展示し、江戸時代の旅の姿をたどる。	
主要展示資料	御参観御下向御行程記(複製)	岡山県立博物館(原本:山口県立文書館)
	金毘羅参詣名所図会	岡山県立博物館
	備中国絵図屏風	岡山県立博物館
	象通候節之留帳	岡山大学附属図書館
	絵馬 お蔭参りの図	牛窓神社(寄託:岡山県立博物館)
	絵馬 伊勢参宮之図	若宮八幡宮(寄託:岡山県立博物館)
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) 学芸員による展示解説	
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室	

事業名	特別展「岡山の日蓮法華宗」(仮)	
期間	平成31年10月11日(金)～11月10日(日)	
趣旨	日蓮(1222～1282)が関東で立宗した日蓮宗は、弟子日像(1269～1342)によって京都へ伝えられた。日像は京都の公家や富裕層に信者を広げ、さらに西へと教線を伸ばすきっかけをつくり、弟子大覚妙実(1297～1342)を送り出した。三備地方(備前・美作・備後)には、開創を大覚上人とする日蓮門流寺院が多くある。その後、「備前法華」・「妹尾千軒皆法華」といった言葉が通用するほど、日蓮宗は三備地方、特に岡山県下南部において広がりを見せた。2019年は日像誕生より750年、2022年は日蓮誕生より800年の年となる。本展では、三備地方への日蓮宗の初錫から、中世期の各流派の広がり、不受不施派の禁止から再開といった、岡山ならではの日蓮宗の歴史と、日蓮宗の美術工芸品に見られる造形の特徴を紹介する。	
主要展示資料	重要文化財 法華経要文和歌懐紙	京都市 妙満寺
	重要文化財 朗源宛 大覚妙実書状	京都市 妙頭寺
	重要文化財 日実上人宛 大覚大僧正書状	京都市 妙覚寺
	重要文化財 釈迦如来坐像 康俊作	備前市 妙国寺
	岡山県指定重要文化財 本蓮寺文書	瀬戸内市 本蓮寺
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) 学芸員による展示解説 (3) 現地説明会	
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室	

事業名	交流展「愛媛が育んだ俳人正岡子規とその仲間たち」(仮)	
期間	平成32年1月1日(水)～2月9日(日)	
趣旨	俳句や短歌など多方面に渡って活躍した、愛媛県松山市出身の正岡子規(1867～1902)。彼は35年の生涯を通じて多くの人々と交友があった。日露戦争のバルチック艦隊との戦いで活躍した秋山真之(1868～1918)。子規とは、幼少期をともに過ごし終生友情で結ばれていた。岡山県津山市出身の大谷是空は、子規と大学予備門で同窓生となり、文学を通じて親密な交友を続けた。子規とともに松山で共同生活をした夏目漱石は、明治25年岡山滞在時に水害に遭い、その様子を子規へ宛てている。子規と彼らを結んでいたのは、皆文学を愛していたということである。愛媛県との交流事業2年目は、江戸から明治へと時代が移り変わる中、正岡子規の生涯を通してどのような交友が育まれたのかを紹介する。	
主要展示資料	正岡子規俳句書付後楽園写真 智謀如湧(東郷平八郎書)(複製) 正岡子規あて秋山真之書簡 野球服姿の正岡子規(写真) 大谷是空正岡子規書簡	松山市立子規記念博物館 坂の上の雲ミュージアム 松山市立子規記念博物館 松山市立子規記念博物館 津山郷土博物館
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) ボランティアガイド (3) 学芸員による展示解説	
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室 津山市郷土博物館、吉備路文学館、犬養木堂記念館、岡山県立図書館と連携展示(予定)	

事業名	特別展「備前のある場所——取り合わせの美——」(仮)	
期間	平成32年2月14日(金)～3月31日(火)	
趣旨	茶席に取り上げられた備前焼は、現在、美術品として単独で鑑賞されることが多い。しかし、本来は、他産地の陶磁器のほか、漆器や金属器といった異素材のものと取り合わせて茶室の中で用いられるものであった。備前焼の魅力は、取り合わせの中で見出されてきたと言える。このたびの展覧会では、茶の湯が大きな盛り上がりを見せた16世紀後半から17世紀前半の茶会記を参考に、備前焼の茶道具を他産地の陶磁器と取り合わせて展覧し、備前焼が魅力を発揮してきた環境を紹介する。	
主要展示資料	備前 水指 美濃 茶碗 志野 銘朝日影 備前 茶碗 銘 只今 備前 水指 唐津 茶碗 備前 建水	香雪美術館 香雪美術館 岡山後楽園 岡山県立博物館 個人 個人
関連行事等	(1) 記念講演会 (2) 関連行事 (3) 学芸員による展示解説	
備考	入館料 一般450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室	

(3) 長期展覧会計画 (案) について

年度	特 別 展 覧 (2 室)	企 画 展	交 流 展	交 流 展 (他 会 場)
30 2018	サムライアイマーマー甲冑 -岡山ゆかりの名品と変わ り兜-	岡山ゆかりの肖像	岡山・愛媛文化 交流事業Ⅰ 伊予の戦国時代	
31 2019	岡山の日蓮法華宗	報恩大師信仰と 寺院縁起 四十八ヶ寺を中心に	岡山・愛媛文化 交流事業Ⅱ 愛媛が育んだ俳人正岡子 規とその仲間たち	愛媛県立歴史博物館 岡山の戦国時代
32 2020	岡山の書	江戸の旅模様	江 戸 の 出 版 物	
33 2021	人々のよそおい	備前のある場所 ——取り合わせの美——	岡 山 の 戦 国 時 代	
34 2022	上杉家の名宝	錦 莞 莖	織りの技と美 —小倉織・綿・絹—	
年 度	特 別 展 覧	企 画 展	交 流 展	

※平成31(2019)年度以降の名称は(仮)で記載

(4) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について

中期目標の達成状況評価(平成29年度)

- (1) 評価の時期 翌年度初めに実施
- (2) 評価者 館全体で評価
- (3) 評価区分 次の1～5段階で実施

評価区分	内 容
5	目標水準を大きく上回った。 140%以上
4	目標水準を上回った。 110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。 90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。 60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。 60%未満

(4) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

<参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

平成29年度の評価

項 目	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1 資料の収集と保存・活用	2	3	3	3	3	3
2 調 査 ・ 研 究	3	3	3	3	3	3
3 施 設 の 整 備 ・ 管 理	3	3	3	3	3	3
4 展 示	3	2	3	4	3	3
5 教育普及・学校教育との連携	4	3	2	3	3	3
6 県民参加の協働運営	3	3	3	3	3	3
7 組 織 ・ 人 員	3	3	1	3	3	3
総 合 評 価	3	3	3	3	3	3

■展示 H28：3 → H29：3

・平成29年度は特別展及び平常展の入館者数が目標値を大きく上回り、年間で54,044人が入館するなど、前年度を大きく上回る結果となった。

評価結果を踏まえた今後の課題と施策への反映

教育普及・学校教育との連携で、館内授業や出前授業の受講児童生徒数が目標人数から比べて大きく下回っているため、校長会や市町村教育委員会等を通じ、より積極的にアピールしていく必要がある。

- 1 博物館事業についての資料を全学校へ配付するとともに、教育問題懇談会でも配付した。
- 2 小・中学校校長会の役員会で事業内容を説明し、積極的な利用促進を働きかけた。

評価シート

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成29年度 実施結果	評 価
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	必要に応じて予 算措置	0点/年	—
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け 入れ件数	随時申し出に対 応	37件/年	—
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け 入れ件数	随時申し出に対 応	8件/年	—
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検 回数	12回/年	12回/年	3
	展示室の資料保存環境 の点検	展示室等の定期点検 回数	50回/年	58回/年	4
	収蔵スペース確保の検 討	収蔵スペース確保の 検討 整理・整頓	随 時	随 時	3
			4回/年	4回/年	
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	2点/年	1冊/年	1
	資料の活用	収蔵資料展示点数	2,000件/年	1,660件/年	2
特別観覧利用件数		150件/年	116件/年	2	
平均評価					3
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テー マの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	1回/年	1回/年	3
		平常展、企画展、特別 展の開催	12回/年	11回/年	3
		博物館講座の開催	6回/年	8回/年	4
		外部研究機関等との連 携	共同研究テーマ数	2件/年	4件/年
	平均評価				

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成29年度 実施結果	評 価
3 施設の 整備・管理	安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画 の策定	緊急性の高い事案 から着手		—
		耐震化への取組	耐震診断の実施	改修計画の策定	—
	危機管理体制	来館者事故数	0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	年2回開催	3
		安全衛生会議の開催	年3回開催	年4回開催	4
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	85%	3
平均評価					3
4 展 示	特 別 展	入館者数	18千人/年	20,156人/年	4
		実施回数	2回/年	2回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	企 画 展	入館者数	7千人/年	3,294人/年	1
		実施回数	1回/年	1回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	交 流 展	入館者数	7千人/年	4,423人/年	2
		実施回数	1回/年	1回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	平 常 展	入館者数	18千人/年	26,171人/年	5
特別陳列		1回/各季節展	1回/各季節展	3	
各展共通項目	関連事 業の充 実	記念講演会	1.5回以上/1展覧会	2.25回/1展覧会	5
		実演等	2.5回以上/1展覧会	2.25回/1展覧会	3
		展示解説	4回以上/1展覧会	4.5回/1展覧会	4
	展示方 法の改 善	キャプション 解説シート 英語・中国語・韓国語 表記	改 善 30枚 英語・中国語・ 韓国語表記	解説シート 既存24枚 +新規18枚 15種 82枚の多言 語パネルを作成配置	5
平均評価					3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成29年度 実 施 結 果	評 価
5 教育普及・学校教育との連携	吉備の国ジュニア歴史スクール	実施コース数	2コース3日/年	3コース2日/年	3
		参加児童数	90人/年	121人/年	4
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数	4講座(2班)/年	4講座(2班)/年	3
		参加受講者数	140人/年	77人/年	1
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数	4講座/年	4講座/年	3
		参加受講者数	120人/年	97人/年	2
	体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型資料の充実	平成30年度末で 40点	39点	3
		館内授業	実施学校数 受講児童生徒数	50校/年 3,000人/年	45校/年 1,799人/年
	出前授業	実施学校数	30校/年	12校/年	1
		受講児童生徒数	2,000人/年	1,072人/年	1
	展示解説	聴講者数	20人/1解説日	58人/1解説日	5
	博物館実習	受け入れ学生数	20人/年	14人/年	2
	中学生職場体験	受け入れ学校数	10校/年	9校/年	3
教職員研修	連携事業の実施回数	5回/年	3回/年	2	
	免許更新講習実施回数	2回/年	3回/年	5	
吉備の国文化遺産映像記録作成事業	作成テーマ数	30テーマ	30テーマ (H26完成)	3	
ジュニア学芸員講座	受入生徒数	20人/年	12人/年	2	
平均評価					3
6 県民参加の協働運営	広報活動	記者クラブへの資料提供件数	30件/年	26件/年	2
		マスコミ取材件数 (新聞への掲載)	120件/年	226件/年	5
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	9.4%/年	2
	ホームページの充実	HPアクセス数	200,000件/年	174,700件/年	2

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成29年度 実 施 結 果	評 価	
		内容の更新頻度	週1回以上	週2回以上	5	
	岡山県立博物館友の会	友の会会員数	400人/年	370人/年	3	
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の72%	2	
		友の会事業実施回数	40回以上	41回	3	
		特別展等観覧者率	4.0%	2.2%	1	
		ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア 30人以上/年	11回/年 45人/年	2 5	
		支援ボランティア	10回/年 30人以上/年	15回/年 83人/年	5 5	
	地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数 (協賛含む)	1展覧会2団体 以上	1展覧会 1.5団体	2	
		連携博物館数	2博物館/年	2博物館/年	3	
	博物館協議会	協議会開催回数	2回/年	2回/年	3	
	老人福祉施設等との連携	連携施設数(館内への受入のみ)	2施設/年	0施設/年	1	
	平均評価					3
	7 組織・人員	学芸員の資質向上	研修会等への参加人数	10人/年	10人/年	3
平均評価					3	
総合評価					3	

後楽園での園内放送や多言語での掲示、館内順路・案内文の工夫や写真撮影等、博物館協議会でいただいた意見をもとに実施した対応を継続して行うとともに、中期目標を上回る入館者数を達成するため、新たに次のような取組を行う。

① **入館者増に向けた広報、啓発の充実**

・経済界との連携強化

岡山商工会議所会報の表紙写真に毎月所蔵品の優品写真を掲載する。

・大学への啓発強化

岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度のポスターを作成し、大学等を訪問して食堂や掲示板に配付してもらうよう依頼する。

・インパクトのある展示

① 平常展も含め、国県重要文化財延40点以上を展示

② おかやまサムライめぐり（岡山城、林原美術館との連携）の実施

③ 調査研究に基づいた新出資料、初公開資料の展示

【山田方谷の甲冑、西郷隆盛が岡山藩主に宛てた書状等】

・メディア媒体を活用した広報活動

館長自ら TV 出演（「夢紡いで」）を行い、若い世代の歴史ファンの増加をアピールする。

② **子どもたちへの教育普及（学校教育との連携）**

・館内授業、出前授業の促進

① 小・中学校長会へ働きかけを行い、館内授業や出前授業の利用促進を図るとともに、校長会等の研修会を当館へ誘致し、校長自らに館内授業の魅力を実感してもらう。

② 博物館事業を示した資料を全学校へ配付するとともに、教育問題懇談会で資料を配付するなどして周知を行う。

③ **博物館友の会の強化**

・会員数の増加等

① 賛助会員の同伴入館者数を3名から5名に拡大

② 岡山商工会議所会報への会員募集の記事掲載

③ 退職教職員説明会での資料配付

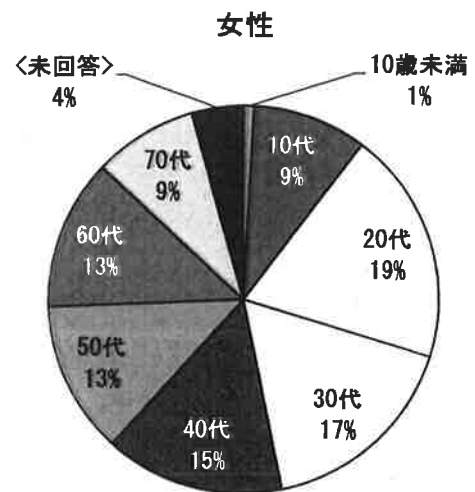
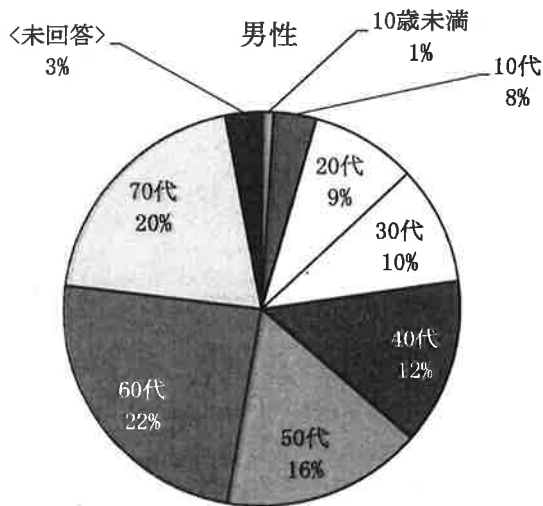
平成29年度 アンケート集計結果

◆アンケート回収率

展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展Ⅱ・Ⅲ	4/1～5/21	10,692	1,188	11.1%
企画展「江戸時代の岡山の学び」	5/25～7/2	3,294	267	8.1%
夏季展Ⅱ・Ⅲ	7/6～9/3	8,653	790	9.1%
特別展「備前刀ー日本刀の王者」	9/8～10/15	11,609	1,601	13.8%
交流展「つながる縁・つづく縁」	10/20～11/26	4,423	296	6.7%
冬季展Ⅰ・Ⅱ	11/30～1/14	5,457	301	5.5%
特別展「むしあげ」	1/19～3/11	8,547	469	5.5%
春季展Ⅰ	3/16～3/31	1,369	195	14.2%
合計		54,044	5,107	9.4%

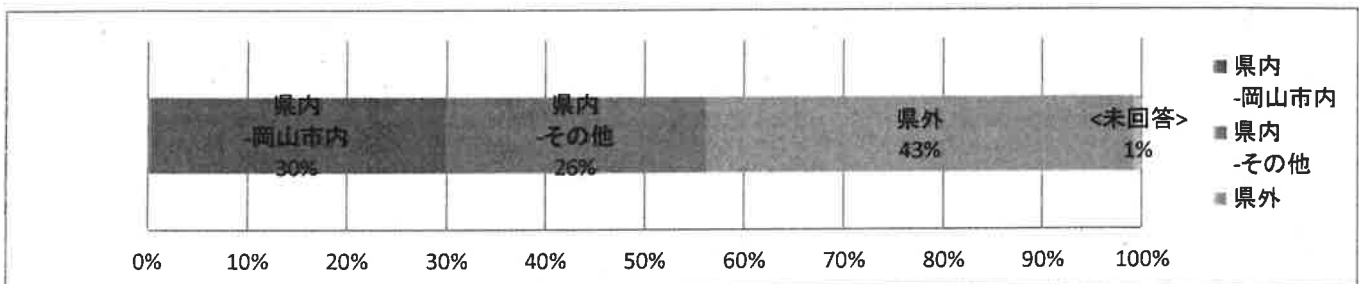
◆年齢構成

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	＜未回答＞	性別別合計
男性	25	99	248	279	392	467	693	574	88	2,865
女性	19	213	436	381	336	285	281	194	97	2,242
合計	44	312	684	660	728	752	974	768	185	5,107



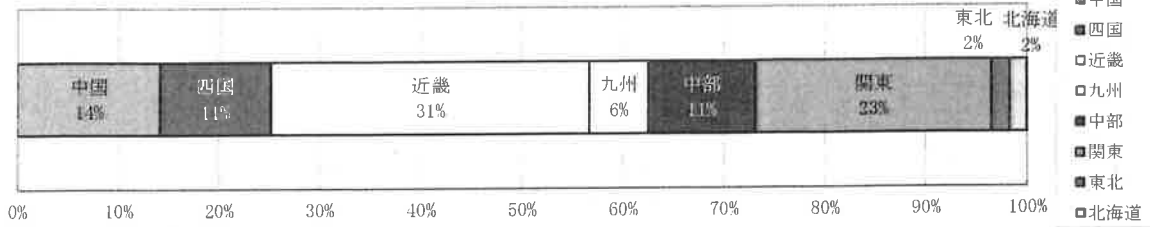
◆住所地一覧

住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外・海外	＜未回答＞	合計
来館者数	1,522	1,345	2,197	43	5,107



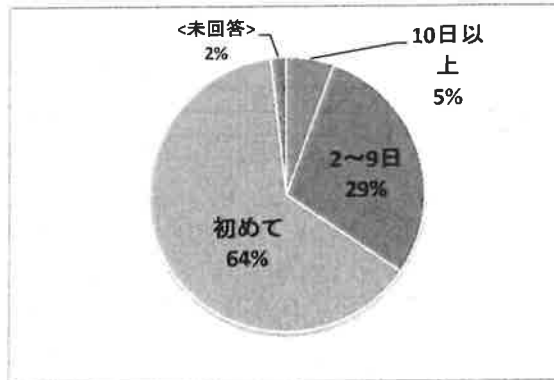
◆県外地方別一覧

地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道	合計
来館者数	304	238	678	127	229	503	39	36	2,154



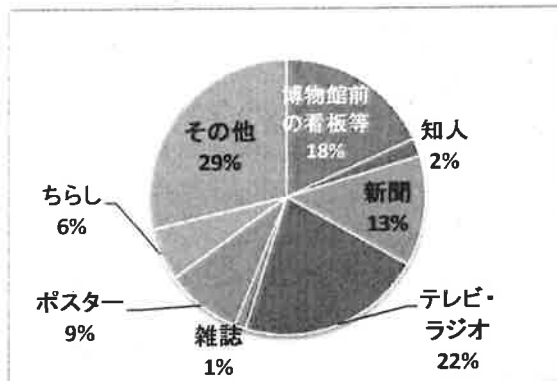
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	283
2~9日	1,479
初めて	3,252
<未回答>	93
合計	5,107



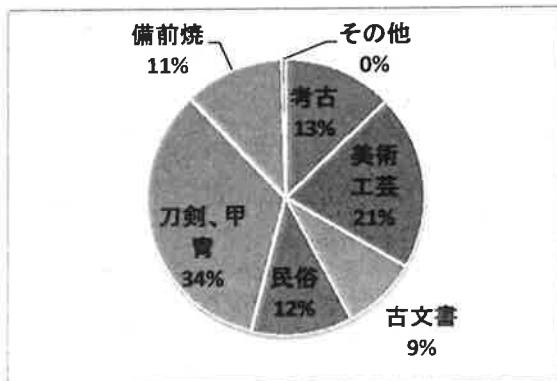
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	1,295
知人	150
新聞	923
テレビ・ラジオ	1,533
雑誌	95
ポスター	637
ちらし	442
その他	2,046
合計	7,121



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古	818
美術工芸	1,319
古文書	558
民俗	755
刀剣、甲冑	2,171
備前焼	743
その他	29
合計	6,393



(希望する内容)

希望分野	
考古	以前岡山から出土して、他の博物館に所蔵している物の展示を企画して欲しい。 全国の発掘の最新情報の特別展をして欲しい。 古代吉備王国の展示を充実させてください。 縄文土器以外の土器資料ももう少し見たい。 出雲と大和の展示物が少ない。歴史ある文化県としてもったいない。 吉備と出雲 大和とのつながり 遺跡から出土する動物などの骨 吉備王国から大和朝廷に至る岡山の歴史 古墳埋葬具 棺
美術工芸	白鳳、奈良時代の仏教美術についての展示を見たい。 近現代のファッション、車のデザイン、岡山県内写真でたどる50~100年?等 岡山の名物、工芸品のルーツ 絵画、墨絵、浮世絵 虫明焼の現代作家の作 平安仏像の彫刻等
古文書	歴史的事件に関する文書等が見たい。 古地図 天皇の手紙文 宇喜多、小早川の展示・その他歴史の展示
民俗	岡山の鉄道や交通の歴史 女性の学び等に関係あるもの 1400年頃から1630年頃の民俗 風習、昔話、言い伝え 白石踊り等、郷土の芸能 岡山の水運・水路について
刀剣、甲冑	戦国武将についての展覧会があれば嬉しいです。 戦国武将の特設コーナーをもっと作ってほしい。 長船、古備前の刀をより多く見てみたい。できれば青江派の刀も見たい。 岡山の戦国時代の刀 可能なら山鳥毛の保管を続けて欲しい。 ゲーム、刀剣乱舞とのコラボもしてほしい。 岡山県内の他の刀派の展示もみたい。青江(倉敷)など。 備前以外の刀剣。例えば御物とか天下五剣とか…。
備前焼	備前焼 県内の焼物展(備前焼を含む) 雑器としての中・近世の焼物
その他	戦時中の岡山と戦後の復興の跡を辿る 岡山県と関りある他県との歴史的なつながりの内容を展示・紹介して欲しい。 大河ドラマ関連、歴史上の人物が身近に感じられる展示 密教(美術・仏像)関連 身近な江戸時代、今の拠点との比較 近代産業 化石や鉱物 仕事の歴史(江戸~平成を通じてどのように変化してきたか) 昔のアニメの絵など

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

<展示関係>

- ・どうして岡山藩では教育に熱心だったのかというような背景が分かれば面白いかなと思いました。
- ・いろんな時代のものがあって、少し雑然とした印象がある。もう少し展示スペースや順序を工夫した方がよいと思う。
- ・昭和のくらしの展示物についてまとめた冊子があると良かったと思います。
- ・子供にわかりやすいパネル展示があった方がよい。
- ・子供の為の部屋(体験学習コーナー)はすばらしいといつも思っています。孫たちはここで遊びたくて博物館へ行こう！とっております。
- ・展示室内は暗かったけれど、スライド照明がはっきり読みやすい。
- ・各室は全体的に暗いので見えにくい。展示品の数を増やして欲しい。
- ・日本刀の重さを体験できてよかったです。
- ・刀のライトがすごく考えて当ててらっしゃいますね！刃紋が見やすく親切な展示だと思いました。
- ・刀の刃紋や刀についての詳細な解説があり、とても勉強になった。ただ、作品の一つ一つが実際に何の刃紋の種類に該当しているか解説があると親切だなあと思った。
- ・山鳥毛を岡山に残して下さい。現在刀剣は多くの人に注目を集めています。お願いします。(多数意見)

<施設関係>

- ・ベビーカーを利用していたため、エレベーターがあり助かりました。
- ・入館してエレベーターまでが遠い。
- ・スロープはあった方がよい。バリアフリー化をぜひ進めて欲しいです。
- ・建物の老朽化が目立つので、せめてトイレはウォシュレットにして欲しい。
- ・県立博物館としての施設がもっと大きく新しいものになることを望みます。せっかくの貴重な文化財の展示スペースが少なすぎる。

<その他>

- ・なぜ岡山は色々、バラバラの美術館、博物館があるのか？まとまった方が見易いのでは？
- ・向いの後樂園にはいっぱいの人 coming なのに博物館へはほとんど来ない。来館者を増やすことを工夫してみるべきでは？
- ・博物館の存在があまり知られていない子供らに、遠足等で体験させて欲しい。
- ・子どもが参加できるセミナーや、「〇〇教室」等がもっとあっても良いですね。
- ・大人用の甲冑もあるのが面白いと思いました(甲冑体験)。
- ・見て周るのに疲れるので、できれば椅子をたくさん用意して欲しい。
- ・受付の方がとても丁寧な接客で好感がもてました。親切でした。
- ・受付の方が入館時に割引きなどを知らせてくれた。
- ・指紋がつかないようにこまめにガラスをふかれていました。さりげなく巡回もされていましたが変に目立つことなく行動されていました。
- ・展示室に座っている看視の人の視線が気になる。きちんと見るのが仕事なのはわかるが、じろじろ見られるとゆっくり観覧しにくい。

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成29年2月5日～平成31年2月4日）

平成30年5月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	清友 尚	学校教育関係者	真庭市立八束小学校長	H30. 4	新任
2	小田 洋子	"	備前市立日生中学校長	H27. 2	
3	福本 まゆみ	"	岡山県立総社南高等学校長	H28. 7	
4	村木 生久	社会教育関係者	岡山県生涯学習センター所長	H29. 7	
5	延江 典子	"	岡山県青年団協議会会長	H25. 2	
6	宇野 均 恵	家庭教育関係者	認定NPO法人ハーモニーネット未来理事長	H21. 2	
7	中嶋 一 裕	学識経験者	(株)ビザビ メディア開発局局長	H29. 2	
8	岡野 英美	"	NPO法人ENNOVA OKAYAMA理事長	H29. 2	
9	岡本 隆明	"	(株)山方永寿堂代表取締役会長	H23. 2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科教授	H23. 2	
11	光本 順	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授	H26. 7	
12	吉本 正志 (号)正	"	日本工芸会中国支部参事	H23. 2	
13	名木田 いづみ	"	山陽放送(株)総務局社長室長	H28. 7	
14	清水 玲子	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H26. 7	
15	鳥井 良輔	"	岡山県議会議員	H27. 6	

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
〔岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
〔岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	大西治郎	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考	
館 長	山 田 寛 人		
副 館 長	塩 田 勇	(総務課長事務取扱)	
統 括 学 芸 員	中 田 利 枝 子		
総 括 参 事	竹 原 伸 之	(学芸課長事務取扱)	
総 務 課	主 任	吉 本 治 恵	
	主 任	服 部 禎 宣	
	主 事	小 島 宣 枝	(育児休業中)
	主 事	富 國 ゆかり	(小島宣枝の代員)
学 芸 課	参 事	横 山 定	兼務(岡山県教育庁文化財課本務)
	学芸員(主幹)	重 根 弘 和	
	学芸員(主幹)	秋 山 亮	
	学芸員(主任)	野 田 繭 子	
	主 任	宇 垣 匡 雅	
	主 事	池 田 美 穂	